

土 木 費

土木費の支出済額は、4,450,587,228円で、対前年度比528,467,232円、13.47パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は7.01パーセントです。

8款 1項 2目 建築指導費

開発指導事業

(開発審査課)

決算事項別明細書 221 ページ

予算現額	731,000 円		決算額	703,975 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	27,025 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			708,034 円	地 方 債	
	増減額			△4,059 円	そ の 他	612,547 円
	増減率	△0.57%	一 般 財 源	91,428 円		

<目的>

無秩序な市街化を防止し、良好な市街地の形成を図ります。

<内容>

開発事業者が行う開発行為等に対し、都市計画法や市条例等に基づき、審査、指導を行い適正な許認可事務などを行います。

<実績・成果等>

1 開発許可等

都市計画法に基づく開発許可等の受付、許可等の件数は次のとおりです。

区 分	受 付		許 可 等	
	件 数	面 積	件 数	面 積
開 発 許 可 (法29条)	件 101	㎡ 59,952	件 98	㎡ 59,838
建 築 許 可 (法43条)	34	10,137	33	10,015
適 合 証 明 (規則60条)	227	274,896	224	273,066
合 計	362	344,985	355	342,919

※受付及び許可件数には、市の建築協議を含まず。

2 開発行為に関する協議及び指導

狭山市宅地等の開発に関する指導要綱に基づく事前協議の締結件数は、次のとおりです。

(1) 用途別事前協議の締結件数

区 分	専用住宅	共同住宅 ・長屋	店 舗	工 場 ・倉庫	公益施設	その他	合 計
件 数	15 件	6 件	3 件	5 件	1 件	6 件	36 件

(2) 地区別事前協議の締結件数

区 分	入間川	入 曽	堀 兼	奥 富	柏 原	水 富	新狭山	狭山台	合 計
件 数	6 件	4 件	6 件	1 件	6 件	11 件	1 件	1 件	36 件

3 開発行為等に伴う相談及び指導

開発行為等の書面による相談受付件数は、194 件です。

8 款 1 項 2 目 建築指導費

建築審査事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 223 ページ

予算現額	3,109,000 円		決算額	2,643,288 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	465,712 円			県 支 出 金	19,020 円
前 年 度 比 較	決算額	7,486,568 円		地 方 債	
	増減額	△4,843,280 円	そ の 他	1,797,150 円	
	増減率	△64.69%	一 般 財 源	827,118 円	

<目的>

建築基準法等の所掌法令に基づき、公共の福祉の増進に資することを目的とします。

<内容>

建築基準法、バリアフリー法、建築物省エネ法、屋外広告物法、建設リサイクル法、長期優良住宅法等の所掌法令に基づき、民間事業者等が行う各種計画等に対し、法令に基づき適切な指導や助言を行うと共に、申請に対する許認可事務を行います。

<実績・成果等>

1 建築基準法

(1) 建築確認等

建築確認（建築設備及び工作物を含む）等の主な受付件数は、次のとおりです。

区 分	建築確認		計画通知（国・県・市の建築物等）	
	申請受付	計画変更受付	申請受付	計画変更受付
件 数	28 ^件	5 ^件	11 ^件	3 ^件
区 分	許認可		検 査	
	建築許可受付	仮使用認定受付	中間検査受付	完了検査受付
件 数	4	2	1	37

(2) 道路位置指定

建築主等により築造された道を特定行政庁が建築基準法の道路として指定又は廃止した内訳は、次のとおりです。

区 分	受 付			指 定 通 知		
	件 数	延 長	面 積	件 数	延 長	面 積
指 定	1 ^件	36.79 ^m	171.03 ^{m²}	1 ^件	36.79 ^m	171.03 ^{m²}
廃 止	3	224.50	931.88	3	224.50	931.88

(3) 建築物等の定期報告

多くの人が利用する集会所、病院、共同住宅、店舗等で一定規模以上の建築物、建築設備及び昇降機等の所有者(管理者)は、その安全性を保つために定期的に有資格者による状況調査(検査)を行い、その結果について特定行政庁への報告が義務付けられています。

本規定に基づく報告件数は、次のとおりです。

区 分	建 築 物	建 築 設 備	防 火 設 備	昇降機設備等	合 計
報告件数	51件	174件	78件	630件	933件

2 建設リサイクル法

特定建設資材（木材・コンクリート・アスファルト等）を用いた建築物等の解体工事、新築工事又は工作物に係る土木工事等で一定の規模を超えるものについては、建設リサイクル法に基づき分別解体・特定建設資材の再資源化及び事前の届出等を義務付けています。

本規定に基づく届出件数等は、次のとおりです。

区 分	届 出（民間事業者）			通 知（公共公益事業者）			合 計
	建築物の解体	建築物の新築・増築・修繕・模様替	その他工作物に関する工事	建築物の解体	建築物の新築・増築・修繕・模様替	その他工作物に関する工事	
件 数	205件	19件	51件	5件	5件	66件	351件

3 屋外広告物法

良好な景観の形成と風致（自然のもつ美しさ）の維持及び公衆に対する危害の防止から、屋外で公衆に表示される広告板、広告塔等の広告物については、屋外広告物法及び埼玉県屋外広告物条例の規定に基づき規制を行っています。

本規定に基づく許可件数は、次のとおりです。

区 分	広 告 板	広 告 塔	電柱等利用広告	標識利用広告	その他	合 計
受 付	137 ^件	1 ^件	1 ^件	0 ^件	8 ^件	147 ^件
許 可	137	1	1	0	8	147

4 長期優良住宅の普及に関する法律

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の普及を促進するため「長期優良住宅の普及に関する法律」に基づき認定を行っています。

本規定に基づく認定件数は、次のとおりです。

なお、本認定により、住宅ローン減税等の税制上の優遇を受けることができます。

区 分	受 付	認 定
認 定 申 請	97 ^件	97 ^件
計 画 の 変 更	4	4
譲受人決定に伴う変更	4	4
地位承継の承認申請	0	0

5 建築物省エネ法・エコまち法

(1) 届出

建築物省エネ法により、床面積（棟単位）が300平方メートル以上の建築物（住宅を含む）の新築・増改築については、省エネルギーのための措置に関する届出が必要となります。

区 分	件 数
届 出	17件

(2) 認定

建築物の新築等の計画について、建築物省エネ法に基づき、建築物のエネルギー消費性能が一定の水準（誘導基準）を満たしている場合及び、エコまち法に基づき、省エネ性能を持ち、かつ低炭素化に資する措置を講じていることなど一定の基準を満たしている場合に、それぞれ認定を受けることができます。

区 分	件 数
性能向上計画認定	1 ^件
低炭素建築物認定	8

8 款 1 項 2 目 建築指導費

道路後退整備事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 223 ページ

予算現額	12,500,000 円		決算額	9,416,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,084,000 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	2,205,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			10,193,000 円	地 方 債	
	増減額			△777,000 円	そ の 他	3,791,800 円
	増減率		△7.62%	一 般 財 源	3,419,200 円	

<目的>

建築主等の理解と協力のもとに、建築行為に係る後退部分を道路として整備するため、市に寄付していただくことにより、安全で良好な市街地の形成と住環境の向上を図ることを目的とします。

<内容>

建築基準法第 42 条第 2 項道路の後退用地の寄付をした建築主等に対し、分筆登記に係る費用についての補助金の交付及び後退部分の工作物等の撤去に係る費用についての補助金の交付を行います。

<実績・成果等>

補助金交付実績

区 分	補助金交付件数	補助金交付総額	1件当たりの 平均交付額	対象面積
分筆手数料補助金	43 ^件	8,100,000 ^円	188,372 ^円	592.95m ²
工作物撤去補助金	10	1,316,000	131,600	

8 款 1 項 2 目 建築指導費

民間建築物耐震改修等促進助成事業

(建築審査課)

決算事項別明細書 223 ページ

予算現額	5,650,000 円		決算額	984,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	175,000 円	
不用額	4,666,000 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			4,591,000 円	地方債	
	増減額			△3,607,000 円	その他	
	増減率	△78.57%	一般財源	809,000 円		

<目的>

旧耐震基準で建築された住宅や一定規模以上で多数の者が利用する民間建築物の耐震診断・耐震改修工事及び地震等で倒壊の恐れのある危険なブロック塀等の改修工事に対して補助金を交付し、建築物の耐震化を促進するとともに、災害に強いまちづくりを推進します。また、生活環境の保全を目的とし、民間建築物の吹き付けアスベスト含有調査に対して補助金を交付します。

<内容>

- ・昭和 56 年 5 月 31 日以前の旧耐震基準で建築確認を取得し建築された木造戸建住宅、区分所有共同住宅及び民間特定既存耐震不適格建築物の耐震診断・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。
- ・道路に面する危険なブロック塀などの撤去や、安全なフェンスなどへの改修工事の費用の一部を補助します。

<実績・成果等>

1 無料耐震診断件数

区 分	職員による件数	建築士会との共催による件数
木造戸建て住宅 無料耐震診断	9件	10月・3月（会場：市役所）
		0件 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)

2 補助金交付実績

区 分	補助金交付件数	補助金交付総額	1件当たり平均交付額
木造戸建て住宅 耐震診断補助金	1 件	50,000 円	50,000 円
木造戸建て住宅 耐震改修工事補助金	1	300,000	300,000
危険ブロック塀等 改修事業補助金	5	634,000	126,800

8 款 1 項 3 目 国土調査費

地籍調査事業

(管理課)

決算事項別明細書 225 ページ

予算現額	11,347,000 円		決算額	10,159,236 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,187,764 円	決算額の 財源内訳		県支出金	5,382,000 円	
前年度 比較	決算額			13,502,973 円	地方債	
	増減額			△3,343,737 円	その他	
	増減率	△24.76%	一般財源	4,777,236 円		

<目的>

国土調査法に基づく調査であり、市が主体となって一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量し地籍の明確化を図ることにより、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資することを目的とします。

<内容>

昭和 40 年度から地籍の明確化、土地利用の高度化に資することを目的に地籍調査を実施しています。

地籍調査の工程は、一筆地調査と地籍測量に分かれ、一筆地調査においては土地所有者の立会いのもとで筆毎の境界を確認します。地籍測量においては、一筆地調査で確認された境界の測定及び筆毎の土地の面積測量を行い地籍簿・地籍図を作成します。一般の閲覧に供した後、その成果は法務局に送付するとともに市で保管し活用しています。

<実績・成果等>

調査地区名	調査計画面積	事業面積	完了面積	進捗率
入間川(狭山第54・55)	41.67km ²	0.07km ²	36.29km ²	87.09%

8 款 2 項 1 目 道路橋りょう総務費

道路橋りょう管理事業

(管理課)

決算事項別明細書 225 ページ

予算現額	12,277,000 円		決算額	11,434,767 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	842,233 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	12,867,901 円		地 方 債	
	増減額	△1,433,134 円		そ の 他	1,849,500 円
	増減率	△11.14%	一 般 財 源	9,585,267 円	

<目的>

道路及び水路の敷地を適切に管理することを目的とします。

<内容>

道路法に基づく市道認定、廃止及び変更手続き、道路占用許可や道路工事施行承認事務、道路及び水路の管理などです。

<実績・成果等>

1 道路占用許可

電柱・ 電話柱	街灯柱	諸 管 理 設				看板・ 標識の類	建築用 足場囲い	その他	合 計
		上水道	下水道	ガス管	地下 ケーブル				
57 件	5 件	253 件	252 件	304 件	10 件	39 件	21 件	146 件	1,087 件

2 公共物(水路)使用許可

諸 管 理 設			通路・ 出入口	電柱・ 電話柱	その他	合 計
上水道	下水道	ガス管				
4 件	18 件	6 件	84 件	6 件	33 件	151 件

3 施行承認

歩道切り下げ	舗装整備	ガードレール撤去	その他	合 計
14 件	40 件	6 件	67 件	127 件

4 不用道水路敷地の売り払い

道 路 敷 地		水 路 敷 地		合 計	
件数	面積	件数	面積	件数	面積
3 件	166.46 m ²	1 件	85.55 m ²	4 件	252.01 m ²

5 違反屋外広告物の簡易除却枚数

は り 紙	は り 札	立 看 板	広 告 旗	合 計
29 枚	231 枚	19 枚	0 枚	279 枚

8 款 2 項 1 目 道路橋りょう総務費

道水路台帳整備事業

(管理課)

決算事項別明細書 227 ページ

予算現額	36,602,000 円		決算額	36,446,300 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	155,700 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			34,501,500 円	地方債	
	増減額			1,944,800 円	その他	
	増減率	5.64%	一般財源	36,446,300 円		

<目的>

道路台帳については、道路法に基づき毎年度調査を行い、閲覧に供するとともに、地方交付税算定の基礎資料として活用しています。

水路台帳については、法定外公共物である水路の適正な管理に資するため、台帳の整備を行います。

<内容>

新設道路、改良道路並びに地籍調査、境界査定等で境界が確定した道路について、道路台帳の加除、修正を行います。

また、水路の現況調査、測量、平面図、境界成果図の作成を行っています。

<実績・成果等>

道路台帳については、本年度に新規路線として台帳を整備した 14 路線、区域変更された 14 路線の合計 28 路線、約 9.2 キロメートルについて、測量及び図面の作成を実施しました。これを基に、4,500 路線、約 858 キロメートルを集計し、地方交付税算定資料を作成しています。

水路台帳については、固定資産台帳整備に向けた基礎資料を作成するため、区画整理・圃場整備実施地区 13.5 キロメートルについて、求積図、水路図及びシステムデータファイルを作成しました。

また、作成した台帳を道路管理システムへ取り込み、窓口業務の対応にも活用しています。

内訳表

地区	道 路 台 帳					
	新 規 認 定		区 域 変 更		合 計	
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長
幹線	2	1,055.63 ^m	1	1,444.20 ^m	3	2,499.83 ^m
入間川	6	451.56			6	451.56
入曽			4	2,249.20	4	2,249.20
堀兼	1	332.57	2	1,116.20	3	1,448.77
奥富	1	42.96			1	42.96
柏原	2	464.13	1	1,068.40	3	1,532.53
水富	2	200.31	6	790.57	8	990.88
新狭山						
狭山台						
合計	14	2,547.16	14	6,668.57	28	9,215.73

8 款 2 項 2 目 道路維持費

道路維持補修事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 227 ページ

予算現額	305,820,000 円		決算額	302,467,757 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	3,352,243 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			299,862,081 円	地方債	
	増減額			2,605,676 円	その他	151,864,500 円
	増減率	0.87%	一般財源	150,603,257 円		

<目的>

市道について、安全性の確保や道路環境の保全を図ります。

<内容>

道路施設等の維持管理及び不具合箇所の修繕を行います。

<実績・成果等>

道路環境の機能の維持管理として、道路等修繕、道路修繕工事、道路等清掃業務、浸透井等清掃業務、街路樹管理業務を実施し、交通の安全を確保しました。

1 修繕実施状況

区分	件数	需用費(道路修繕料)
道路等修繕	160 件	161,997,000 円

2 工事別施工状況

区分	件数	請負額	工事延長
道路修繕工事	4 件	23,181,400 円	653.0m

3 業務委託実施状況

区分	件数	委託料
道路等清掃業務	10 件	9,371,120 円
浸透井等清掃業務	6	3,799,884
街路樹管理等業務	53	41,973,800
合計	69	55,144,804

8款 2項 2目 道路維持費

道路修繕事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 229 ページ

予算現額	247,000,000円		決算額	172,664,800円		
翌年度繰越額	72,400,000円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	67,301,000円	
不 用 額	1,935,200円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			182,899,500円	地 方 債	72,400,000円
	増減額			△10,234,700円	そ の 他	
	増減率	△5.60%	一 般 財 源	32,963,800円		

<目的>

都市計画道路などの幹線市道や一般市道の舗装の破損が著しい路線を対象に、交通の安全性や円滑化を図ります。

<内容>

都市計画道路などの幹線市道や幹線道路などを補完する一般市道について、「市道舗装修繕計画」に基づき、計画的に舗装修繕工事を行います。その他の一般市道も、計画的に修繕工事を行います。

<実績・成果等>

車道舗装 18,924 平方メートルを実施し、交通の安全性や円滑化を図りました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
道路修繕工事	4 件	12,071,400 円	500.0 ^m
舗装修繕工事	9	147,833,400	2,452.9
合 計	13	159,904,800	2,952.9

2 業務委託実施状況

区 分	件 数	委 託 料
調査業務	4 件	12,760,000 円

8 款 2 項 3 目 道路新設改良費

一般市道整備事業

(街路整備課)

決算事項別明細書 229 ページ

予算現額	120,947,000 円		決算額	118,348,503 円		
翌年度繰越額	2,024,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	574,497 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			28,904,596 円	地方債	51,000,000 円
	増減額			89,443,907 円	その他	
	増減率	309.45%	一般財源	67,348,503 円		

<目的>

都市計画道路を補完する一般市道の整備を実施し、安全性や利便性の向上を図ります。

<内容>

一般市道の拡幅等の整備を計画的に実施します。

<実績・成果等>

一般市道の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 調査等の業務委託

委託名	委託場所	委託料
市道幹第 88 号線樹木管理業務委託ほか 4 件	大字南入曽・ 大字青柳・ 大字堀兼地内	18,519,600 円

2 道路改良工事等

工事名	工事場所	請負額
市道 C 第 8 号線道路改良工事ほか 1 件	大字青柳・ 大字堀兼地内	90,024,000 円

3 事業用地の取得に伴う物件補償

件名	補償場所	補償料
一般市道用地取得に伴う物件補償	大字青柳・ 大字堀兼地内	8,667,760 円

8 款 2 項 3 目 道路新設改良費

道路改良事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 231 ページ

予算現額	323,200,000 円		決算額	118,852,350 円		
翌年度繰越額	204,136,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	19,300,000 円	
不 用 額	211,650 円			県 支 出 金	20,799,511 円	
前 年 度 比 較	決算額			45,905,534 円	地 方 債	24,000,000 円
	増減額			72,946,816 円	そ の 他	
	増減率	158.91%	一 般 財 源	54,752,839 円		

<目的>

身近な生活道路である一般市道の安全性や利便性の向上を図ります。

<内容>

一般市道の拡幅や交差点の改良工事を計画的に実施します。

<実績・成果等>

通行車両や歩行者等の安全性、利便性の向上を図るため、道路改良工事を進めるとともに、道路測量・設計・調査業務、道路用地の取得を実施しました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
道路改良工事	2 件	26,748,700 円	209.6m

2 測量・設計・調査及び登記業務実施状況

区 分	件 数	委 託 料 他
測量・設計・調査業務	2 件	4,844,400 円
登 記 業 務	11	5,298,679
合 計	13	10,143,079

3 道路改良工事に伴う用地取得状況

区 分	路線数	対象者	内 容		金 額
道路用地取得	1 路線	3 人	宅地	261.94 m ²	41,630,792 円

8 款 2 項 4 目 橋りよう維持費

橋りよう維持保全事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 231 ページ

予算現額	42,746,000 円		決算額	9,833,900 円		
翌年度繰越額	32,896,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	16,100 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			69,875,650 円	地方債	
	増減額			△60,041,750 円	その他	
	増減率	△85.93%	一般財源	9,833,900 円		

<目的>

市が管理する橋梁の点検調査や修繕及び更新等の維持管理を行います。また、重要な橋梁については「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、適切な維持・保全を図ります。

<内容>

道路法に基づく橋梁点検結果を踏まえ、橋梁の安全性を維持していくため、計画的に修繕等を実施します。

<実績・成果等>

橋梁の安全性を維持するため、計画的に修繕を実施しました。

1 修繕実施状況

区 分	件 数	需用費(橋りよう修繕料)
橋りよう修繕	2 件	5,493,400 円

8款 2項 5目 雨水対策費

水路維持管理事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 231 ページ

予算現額	42,924,000円		決算額	42,047,304円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	876,696円			県支出金	10,400,000円	
前年度 比較	決算額	46,417,579円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	△4,370,275円			その他	
	増減率	△9.42%	一般財源		31,647,304円	

<目的>

水路・調整池等の機能の保全を図ります。

<内容>

水路・調整池の除草、清掃作業及び水路やポンプ施設等の維持・修繕を実施します。

<実績・成果等>

施設の維持修繕、点検を行うことで、良好な維持管理を実施するとともに、除草、清掃を実施し、それぞれの機能確保を図りました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
水路等修繕工事	4件	3,756,500円	70.0m

2 業務委託実施状況

区 分	件 数	委 託 料
水路等除草業務	17件	27,565,670円
水路清掃等管理業務	7	5,164,500
ポンプ等保守点検業務	2	1,867,800
合 計	26	34,597,970

8 款 2 項 5 目 雨水対策費

雨水対策事業

(道路雨水課)

決算事項別明細書 233 ページ

予算現額	19,928,000 円		決算額	19,924,500 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,500 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	7,047,800 円		決算額の 財源内訳	地 方 債	
	増減額	12,876,700 円			そ の 他	
	増減率	182.71%	一 般 財 源		19,924,500 円	

<目的>

都市化による保水機能の低下とともに、近年の集中豪雨等により河川や水路などの流下能力が不足する各所で生じるいっ水被害の緩和や解消を図ります。

<内容>

河川や水路などのいっ水被害の緩和や解消を図るため、不老川などの改修等について関係機関へ要請するとともに、流出抑制や雨水対策を行います。

<実績・成果等>

河川の流域対策や、雨水関連施設等の整備を推進することにより、いっ水被害の緩和や解消を図りました。

1 工事別施工状況

区 分	件 数	請 負 額	工 事 延 長
雨水対策工事	1 件	19,497,500 円	104.0m

8 款 3 項 1 目 都市計画総務費

都市計画管理事業

(都市計画課)

決算事項別明細書 233 ページ

予算現額	313,663,000 円		決算額	311,210,311 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不用額	2,452,689 円			県支出金		
前年度 比較	決算額	290,949,142 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	20,261,169 円			その他	13,489,914 円
	増減率	6.96%	一般財源		297,720,397 円	

<目的>

土地利用の適正な利用と保全を図るため、また、既成市街地における快適な居住環境の創出、都市機能の更新、良好な市街地の整備改善を図る為、都市計画法に基づき、一定の手続きにより決定または変更すること、及び都市計画の制限内容についての情報提供を行うことを目的とします。

<内容>

都市計画決定または変更の事務手続き、都市計画審議会の運営、土地利用調査等の実施、都市計画制限等の情報提供、及び既成市街地や新市街地において進めている都市基盤の整備や居住環境の改善に関する調整等を行います。

<実績・成果等>

1 都市計画手続き

生産緑地地区の都市計画変更

生産緑地法第 10 条の規定に基づく買取り申出に伴い、同法第 14 条の規定に基づく行為制限の解除した地区について、都市計画変更を行いました。

変更後の地区数及び面積 156 地区 約 34.29 ヘクタール

2 住環境整備

居住支援の実施

埼玉県住まい安心支援ネットワークの個別入居支援事業の一環として、高齢者・障害者・ひとり親世帯などへ安定した住まいの確保に向けての支援をするため、賃貸住宅等入居相談会を実施しました。

実施状況

○賃貸住宅等入居相談会 相談件数 6 件 (2 回実施)

8 款 3 項 2 目 都市基盤整備費

入曽駅周辺整備事業（総合戦略事業）

（都市計画課）

決算事項別明細書 235 ページ

予算現額	252,743,000 円		決算額	182,025,822 円		
翌年度繰越額	67,650,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	31,000,000 円	
不 用 額	3,067,178 円			県支出金		
前 年 度 比 較	決算額			81,501,000 円	地 方 債	21,800,000 円
	増減額			100,524,822 円	そ の 他	110,000,000 円
	増減率			123.34%	一 般 財 源	19,225,822 円

<目的>

入間小学校跡地の利活用を中心に入曽駅周辺の利便性及び安全性を高め、新たな拠点整備を図ります。

<内容>

入間小学校跡地の利活用を中心に民間活力を活用した公募型プロポーザルによる利活用提案の募集を実施し、入曽駅周辺の活性化に資する新たな拠点整備を図ります。

<実績・成果等>

令和3年2月11日に一部の地権者について仮換地の指定を行い、2人の地権者と物件移転補償契約を締結し、入間小学校の跡地内において雨水管、污水管の布設等の工事を行いました。また、入曽駅周辺整備事業用地の取得をしました。

8 款 3 項 2 目 都市基盤整備費

狭山工業団地拡張地区基盤整備事業

(都市計画課)

決算事項別明細書 235 ページ

予算現額	81,000 円		決算額	24,210 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	56,790 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			26,364 円	地 方 債	
	増減額			△2,154 円	そ の 他	
	増減率	△8.17%	一 般 財 源	24,210 円		

<目的>

圏央道インターチェンジ周辺の狭山工業団地に隣接する 2 地区について、埼玉県「田園都市産業ゾーン基本方針」に基づき、基盤整備を実施し、企業立地を促進することを目的とします。

<内容>

圏央道インターチェンジ周辺の狭山工業団地に隣接する 2 地区について、埼玉県「田園都市産業ゾーン基本方針」に基づき、土地区画整理事業や地区計画などによる基盤整備の推進を図ります。

<実績・成果等>

土地区画整理組合の業務代行者は、産業基盤整備に係る道路や公園などの公共施設の工事を完了することができました。また、産業基盤整備の完了に伴い、進出企業が施設の建設に着手しております。

8 款 3 項 3 目 街路事業費

狭山市駅加佐志線整備事業

(街路整備課)

決算事項別明細書 237 ページ

予算現額	805,872,000 円		決算額	171,755,975 円		
翌年度繰越額	632,670,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	5,640,000 円	
不 用 額	1,446,025 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			139,581,089 円	地 方 債	7,100,000 円
	増減額			32,174,886 円	そ の 他	
	増減率	23.05%	一 般 財 源	159,015,975 円		

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を実施し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

狭山市駅東口土地区画整理事業区域から東京狭山線までの延長約 930 メートルの区間について、整備を推進します。

<実績・成果等>

狭山市駅加佐志線の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 設計等の業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
狭山市駅加佐志線交差点詳細設計業務委託ほか 5 件	入間川地内	23,973,400 円

2 道路改良工事等

件 名	工 事 場 所	請 負 額
市道幹第 90 号線擁壁築造工事ほか 1 件	入間川地内	11,045,000 円

3 事業用地の取得

件 名	取 得 場 所	取 得 額
狭山市駅加佐志線用地取得	入間川地内	25,524,552 円

4 事業用地の取得に伴う物件補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
狭山市駅加佐志線用地取得に伴う物件補償	入間川地内	108,963,523 円

8 款 3 項 3 目 街路事業費

笹井柏原線整備事業

(街路整備課)

決算事項別明細書 237 ページ

予算現額	390,220,000 円		決算額	241,357,906 円		
翌年度繰越額	148,086,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	20,476,000 円	
不 用 額	776,094 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			72,076,373 円	地 方 債	142,500,000 円
	増減額			169,281,533 円	そ の 他	10,000,000 円
	増減率	234.86%	一 般 財 源	68,381,906 円		

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を実施し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

工業団地日高線から東京狭山線間の延長約 420 メートルの区間と国道 407 号から上広瀬土地区画整理事業区域までの延長約 590 メートルの区間について、整備を推進します。

<実績・成果等>

笹井柏原線の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 調査等の業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
笹井柏原線物件調査再積算業務委託ほか 2 件	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	9,735,000 円

2 道路改良工事等

工 事 名	工 事 場 所	請 負 額
市道幹第 68 号線道路改良工事ほか 6 件	柏原・大字上広瀬・ 大字下広瀬・ 大字笹井地内	163,660,800 円

3 事業用地の取得

件 名	取 得 場 所	取 得 額
笹井柏原線用地取得	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	18,341,475 円

4 事業用地の取得に伴う物件補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
笹井柏原線用地取得に伴う物件補償	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	46,622,743 円

8 款 3 項 5 目 緑地保全費

緑地保全管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 239 ページ

予算現額	18,258,000 円		決算額	18,051,460 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	206,540 円			県 支 出 金	379,400 円	
前 年 度 比 較	決算額			15,827,476 円	地 方 債	
	増減額			2,223,984 円	そ の 他	
	増減率	14.05%	一 般 財 源	17,672,060 円		

<目的>

自然と市民生活との調和による良好な生活環境の増進及び、永続的な緑地の保全を図ります。

<内容>

保存樹木を指定し、管理費の一部として助成金を交付します。また、公有地化したふるさとの緑の景観地内の平地林、柏原地区他の斜面緑地について、除草、剪定、枯損木処理等の維持管理を行います。

<実績・成果等>

保存樹木の指定

緑の啓発を図るとともに、都市化の進む中で緑地の保全を目的として、保存樹木の指定を行い、管理費の一部を助成しました。

区 分	本年度末指定数量	本年度中の指定の増減		助成対象数量 (10月1日基準日)	助成金額
		指定	解除		
保存樹木	152 本	0 本	5 本	154 本	338,800 円

8款 3項 5目 緑地保全費

市街地緑化推進事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 239 ページ

予算現額	200,000 円		決算額	64,500 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	135,500 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			154,593 円	地 方 債	
	増減額			△90,093 円	そ の 他	
	増減率	△58.28%	一 般 財 源	64,500 円		

<目的>

緑化推進と災害防止に役立たせるため、生け垣等の設置を推進します。

<内容>

狭山市生け垣設置奨励補助金交付要綱に基づき生け垣を設置する場合に、補助金を交付し、市街地の緑化を推進します。

<実績・成果等>

区 分	設 置 件 数	補 助 延 長	補 助 金 額
生け垣	2 件	21.5 m	64,500 円

8款 3項 6目 公園費

公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 241 ページ

予算現額	190,509,000円		決算額	189,654,399円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	3,000,000円	
不用額	854,601円			県支出金		
前年度 比較	決算額			160,441,017円	地方債	
	増減額			29,213,382円	その他	13,040,890円
	増減率	18.21%	一般財源	173,613,509円		

<目的>

公園を安全で安心して快適に利用できるようにします。

<内容>

公園施設等の維持管理を行います。

<実績・成果等>

1 公園の維持管理

都市公園をはじめ街区公園、河川敷公園は198カ所であり、市の維持管理対象面積は1,383,414.02平方メートルとなっています。

2 運動施設等の利用状況

スポーツ施設は、市民の体力づくり、健康づくりの場として利用されています。

[利用状況]

施設名		施設数	利用可能回数	利用回数	利用人数	利用率
新狭山公園	テニスコート	4	4,636 ^回	3,242 ^回	15,350 ^人	69.93%
	野球場	1	1,012	495	9,744	48.91
狭山台中央公園	テニスコート	3	2,221	1,613	8,463	72.62
	野球場	1	642	300	5,468	46.73
上奥富運動公園	野球場	2	1,303	531	14,130	40.75
	コンビネーショングラウンド	4	2,333	779	24,201	33.39
堀兼・上赤坂公園	多目的グラウンド	1	855	591	11,635	69.12
鶴ノ木運動公園	テニスコート	3	1,903	750	3,077	39.41
	野球場	2	1,240	383	9,750	30.89

広瀬河川敷 公園	野 球 場	1	965	125	2,101	12.95
	少 年 野 球 場	1	957	62	1,597	6.48
	ソフトボール場兼 サ ッ カ ー 場	2	2,240	747	33,141	33.35
	ソフトボール場兼 少 年 サ ッ カ ー 場	1	1,141	384	12,432	33.65
	少 年 サ ッ カ ー 場	1	1,133	274	16,892	24.18
柏原河川敷 公園	サ ッ カ ー 場	2	2,116	1,332	28,213	62.95
	多 目 的 広 場	1	1,106	739	13,347	66.82
	少 年 野 球 場	1	1,011	469	11,750	46.39
入多目的広 曾場	テニスコート	6	4,003	2,099	5,466	52.44
	ソフトボール場	1	666	75	451	11.26
	狭山・入曾パーク	1	2,477	1,927	5,405	77.80
下奥富 運動公園	少 年 サ ッ カ ー 場	1	1,038	601	8,389	57.90
	ソフトボール場	2	2,106	959	5,040	45.54
	野 球 場	1	1,108	783	21,600	70.67

3 委託料

- (1) 新狭山公園ほか4公園指定管理料 50,940,192円
(2) 市内各公園の除草・清掃等管理委託料 81,653,069円

4 工事請負費

- (1) 堀兼・上赤坂公園周辺遊歩道整備工事 1,276,000円
(2) 公園遊具修繕工事(その1) 407,000円
(3) 公園遊具修繕工事(その2) 1,134,980円
(4) 公園遊具修繕工事(その3) 473,000円

8款 3項 6目 公園費

智光山公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 243 ページ

予算現額	207,997,000 円		決算額	207,941,244 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	55,756 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			188,266,590 円	地 方 債	
	増減額			19,674,654 円	そ の 他	
	増減率	10.45%	一 般 財 源	207,941,244 円		

<目的>

智光山公園全体のスケールメリットを活かした効率的な管理業務を指定管理者が実践することで、智光山公園及び公園内の公の施設における人員配置や維持管理業務の効率化による管理運営経費の縮減が期待できます。

<内容>

智光山公園内のみどり公園課が所管する施設（智光山公園の園地、テニスコート、こども動物園、都市緑化植物園、釣場）の管理運営業務について、民間の優れた経営ノウハウを導入するため、指定管理者制度による運営を行います。

<実績・成果等>

1 運動施設等の利用状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部イベント等を中止しました。

(1) 智光山公園テニスコート

テニススクールを開催しサービス向上と利用率向上に努めました。

〔利用状況〕

施設数	総供用日数	利用可能回数	利用回数	利用人数	利 用 率
16	294 日	27,368 回	16,354 回	77,447 人	59.76%

(2) 都市緑化植物園

緑の相談所は、都市緑化植物園の中核施設として、緑化に関する指導、相談及び展示会、更に各種講習会を開催し、市民の緑化意識の高揚と緑化技術の普及及び向上を図りました。

〔開催状況〕

	件数、回数等	参加者数等	内 容
緑 化 相 談	758件	760 件	育て方、増やし方、肥料、害虫等について
展示会の開催	3回	6,344人	さやまの花守展、旅する木の実の不思議展等
講習会の開催	3回	44人	バラサポーター養成講座

(3) こども動物園

日常的に自然や動物に親しむことのできる場として、動物展示の充実を進めました。

開園日は235日、来園者は164,835人ありました。

〔開催状況〕

	回数	参加者数	内容
イベントの開催	6回	1,999人	来園者600万人達成式典、動物ガイド等

(4) 野外活動広場

7月から11月と3月に開設しました。

〔利用状況〕

	施設数	総供用日数	使用日数	利用人数	使用率
テントサイト	8	178 ^日	173 ^日	3,054 ^人	97.19%
宿泊棟	2	153	138	908	90.20

(5) 釣場

開場日数は247日、入場者数は10,347人ありました。

〔開催状況〕

	回数	参加者数	内容
講習会の開催	2回	35人	エサ教室

2 委託料

智光山公園指定管理料

189,296,244 円

8 款 4 項 1 目 住宅管理費

既存市営住宅改修等事業

(住宅営繕課)

決算事項別明細書 245 ページ

予算現額	102,613,000 円		決算額	101,669,193 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	42,997,000 円
不 用 額	943,807 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			75,871,106 円	地 方 債
	増減額	25,798,087 円	そ の 他	58,672,193 円	
	増減率	34.00%	一 般 財 源		

<目的>

市営住宅及び共同施設を適正な状況で維持管理していきます。

<内容>

市営住宅の 16 団地 807 戸は、施設の経年劣化に伴う修繕、入居者の入れ替わりに伴う空家改修工事、設備機器の交換と共に、住宅の長寿命化を図るため既存市営住宅の改修等の事業を実施します。また、植栽等の管理も計画的に推進します。

<実績・成果等>

1 修繕

修繕料 98件 12,986,465円

市営住宅入居者の住環境を確保するための、修繕や室内の電気関係器具・配線不良および給排水管の漏水等設備器具の修理交換など小規模な緊急修繕を行いました。

2 業務委託

(1) 植栽管理委託料 4,381,300 円

(2) 旧月見野団地跡地道路詳細設計業務委託 1,485,000 円

(3) 旧市営住宅月見野団地跡地埋設物等調査業務委託 550,000 円

(4) 市営住宅霞野団地アスベスト調査業務委託 292,600 円

(5) 旧市営住宅鶴ノ木団地跡地の未利用地（市営住宅鶴ノ木団地 B 棟側）の分筆業務
360,035 円

3 住宅改修諸工事費

(1) 外壁等改修工事費 48,048,000円

市営住宅上ノ原団地の外壁改修等工事を行ったものです。

(2) 空家改修工事（26件） 18,455,863円

(3) ガス漏れ警報器取替工事 1,969,880円

(4) その他市営住宅団地各種改修工事 13,140,050円